

## 藤里町太陽光発電導入事業 三施設電気使用量の推移

東日本大震災の後、災害に強い街づくりのため、環境省のGND（グリーンニューディール）事業を活用し、平成25年度に藤里町内三施設（三世代交流館、藤里小学校、藤里中学校）へ太陽光発電・蓄電設備を導入しました。この事業は、太陽光発電と蓄電池に関しては、100%補助される大変有利な補助制度です。

災害時、停電が長時間に及ぶ場合、この三施設においては、5kwhの蓄電池と太陽光発電により、電源を供給することができます。通常時は、太陽光発電した電気を蓄電池へためて、余った分を施設で消費します。

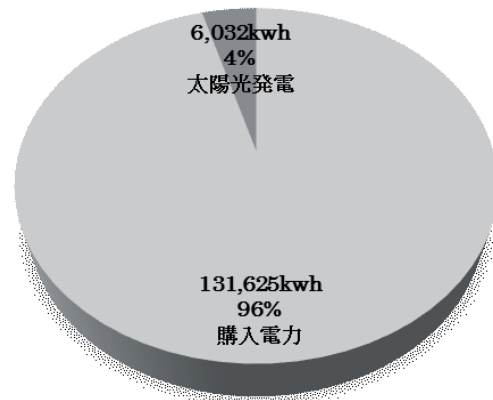
太陽光発電導入から1年が経過しました。太陽光発電導入前（H25）と導入後（H26）で、電気使用量がどのように変化したかを検証しました。

### ①三世代交流館 (単位：kwh)

	年間使用量	月平均
H25	135,742	11,311
H26	131,625	10,968
H25比増減	▲4,117	▲343
太陽光発電分	6,032.68	502.72

平成26年度の電気使用状況は、平成25年度に比べ、年間4,117kwh減少しています。これは、太陽光で年間6,032kwh発電されたことで減少したものと分析されます。少ないですが、省電力化へ貢献しています。

### 平成26年度太陽光発電割合



### ②藤里小学校 (単位：kwh)

	年間使用量	月平均
H25	60,520	5,043
H26	52,899	4,408
H25比増減	▲7,621	▲635
太陽光発電分	6,031.83	502.65

平成26年度の電気使用状況は、平成25年度に比べ、年間7,621kwh減少しています。これは、太陽光で年間6,031kwh発電されたことで、減少したものと分析されます。

施設規模が三世代交流館の約半分ですので倍以上の10%省電力化へ貢献しています。

### 平成26年度太陽光発電割合

